



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

子どもたちを取り巻くネットの罠！

社会では、私たちを取り巻く情報環境が刻々と変化しています。昨今「SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)」の利用率が高まり、さらにスマートフォンの普及が進むことで、「LINE(ライン)」と呼ばれるサービスが中高生の間で急激に広まっています。それに伴い、社会では「LINE」を利用した犯罪やトラブルが後を絶たない傾向にあります。また、学校内でも「LINE」による誹謗中傷に苦しんだ女子高校生が「しんどい」「死にたい」と友だちに相談したあと、マンションから飛び降り自殺する事故も今年3月に奈良県で起きています。



学校では、学習サポート員の佐藤先生から子どもたちは、情報モラルに関する知識等について学んでいます。12月5日の授業参観では、保護者向けの講演をしていただきました。その内容についてお知らせいたします。

- 1 「持たせるか否か」という議論だけでなく、「どう使わせるか」を。
- 2 LINE(無料通話アプリ)に起因するトラブルが多発(特に女子)。
- 3 インターネットの敷居が下がったことで、子どもたちが無意識のうちに犯罪に手をそめていることも。また、被害者になってしまうリスクも高くなっている。

(1) 違法意識が薄い犯罪：違法ダウンロード

(2) 個人情報の漏洩

- ① 無料通話アプリの気軽な利用
- ② ちよつとした「ワル」自慢が引き起こす騒動
- ③ 個人情報の漏洩(無料通話アプリだけではない)
- ④ 懸賞詐欺(下記、金銭トラブルにもつながる)

(3) 金銭トラブル

- ① ワンクリック詐欺
- ② 詐欺メール(出会い系サイトへの誘導)

(4) 適切でない情報への接触：有害サイトへのバナー(様々なページの広告)

4 スマートフォンは従来の携帯以上にリスクが高い。

- (1) 悪意のあるアプリが公式サイトにも出回り始めている。
- (2) 安易なアプリのインストールでスマホをのっとられることも。
- (3) 「基本無料」をうたっているゲームに過剰な課金。

5 まとめ

(1) 十分な知識を持たない子どもにスマートフォンを与えるのは、自転車に乗れるようになった子どもにバイクを与えるようなもの(子どもをネットの海に出すのは親の責任)。

(2)ペアレンタルコントロールを常に意識する。

- ① 各種フィルタリングサービスの利用
- ② 家庭のパソコン、テレビ、ゲーム機にもフィルタリングを。
- ③ 子どもに箱ごと渡してしまうのではなく、その前に親が大切な設定(管理用パスワード)をすること。

(3) 児童に伝えなくてはいけないこと

- ① ネットに流出した情報は絶対に消せない。
- ② 個人情報はあちこちから漏れる。
- ③ 「未成年だから」が通用しない(マスコミと違って、実名がネットに流れます)。

(4) 子どもたちの知識に追いつく努力をしましょう(「知らなかった」では済まない)。



10月に行いました「携帯電話(スマートフォン)等についてのアンケート」では、内川の児童は誰も持っていませんが、町内では93名の児童生徒が所持し、所持率は21%でした。ただ、「自分専用の携帯電話(スマホ)を持つことは必要だと思いますか」では、5年生以上の児童生徒255名の半分の129名が必要だと答えています。逆に、「お父さまは携帯電話(スマホ)を持つことは必要だと思いますか」では、278名の保護者の7%の19名が必要だと答えたに過ぎません。持たせたくない理由を見ると、「持つには早すぎる」以外では、「勉強がおろそかになる」の次に、「犯罪やトラブルに巻き込まれるから」が多いようです。内川の児童も、中学生や高校生になるとスマートフォンを持つようになるのかもしれませんが、便利さの反面の危険性を、私たち大人がよく理解しなくてはならないのではないのでしょうか。

12月の全校集会：「人権」について！



12月9日（月）、全校集会で「人権」について子どもたちに話しました。難しい内容ですが、先週来ていただいた人権擁護委員の方からいただいた「色鉛筆」を渡すために、「人権」について考えるよい機会だとおぼやきました。全校集会後には、子どもたちの感想があがってきます。昨年度までは話して終わりでしたが、今年度は、話したことについてどんなことを考えたか感じたかを書いてもらっています。1・2年生の感想を紹介します。



平成25年度 全校集会【12月】の感想

「人権（じんけん）」



12月4日から10日までは「人権週間」です。4日には人権擁護員の方が来校し、みなさんに色鉛筆のプレゼントがありました。「人権」って何ですか？人権は大切なもの。何を大切にしなければいけないのでしょうか。「人の心」です。そして、大切なことは命を守るということです。安心して「生きていける」ことです。だから、人権は、日本人も、アメリカ人も、中国人もイギリス人も、世界中のどの国の人も、人権を大切にしています。

英語で、「人権」は「Human Rights」 「Human」＝「人」、「Rights」＝「正しいこと」

人権とは、人として正しいことをすることです

自分を大切にすることも、他人を思いやることも、命を大切にすることも正しいことですね。

また、12月3日から9日までは「障害者週間」です。どんな障害を持つ人でも社会の中で一人の人間として普通に生活したり、社会参加できるようにすることが大切です。乙武さんと佐藤選手を紹介しました。お二人とも生き生きしていますね。難しいかもしれませんが、自分がここに生まれているということを考えながら「生きる」ことについて真剣に考えてみましょう。



1年



2年



ぼくは、おとたけさんが、しょうがいがあっても、まい日楽しくいきていることがすごいとおもいます。おとたけさんは、あんしんしてられるから、うれしいとおもいます。ぼくは、こまっている人やいやがっている人にこえをかけてあげたいです。

わたしは、これからもともだちとなかよくしたいです。こまっている人がいたらいっしょにかんがえてたすけてあげたいです。

わたしは、ともだちのことをずっといじめたりしないようにしたいです。もしもだれかがともだちをいじめていたらわたしは、たすけてあげたいです。おとたけさんは、子どものころから手とあしが無いのにいろいろなことをちょうせんしていたので、すごいとおもいました。

わたしは、さとうまみせんしゅが、あしがなくなっても、りく上をがんばってやっているのがすごいとおもいました。わたしも、さとうまみせんしゅみたいにならなりたいです。

ぼくは、さとうまみさんの足がなくても、がんばって生きていることが心にのこりました。ぼくは、これからみんなとなかよく生活をしたいです。

わたしは、おとたけさんが生まれた時、手や足がなかったの、おとたけさんのお母さんとお父さんは、かなしかったと思いました。自分は目が見えないとなんにもできません。耳がきこえないと先生や友だちの声がきこえません。よくテレビのニュースで手話をやっています。それも人けんをまもることだとわかりました。

わたしは、ひいばあちゃんのお手つだいをしています。ときどきひいおばあちゃんのおとんにはいってテレビを見ることがあります。ひいばあちゃんが「いっしょにいてうれしいよ。」とってくれたことがあります。わたしも「いっしょにいてうれしいよ。」と言った時に、ひいばあちゃんの顔がえがおになりました。